

大衆・児童が中心

都留文科大教授 岩見 良太郎

先日、市のまちづくり協議会で話をさせてもらったが、実は私が市民の方々と交流できたのはこれが最初である。こちらの大学に移ってきたのは社会学科が新設された時であるから、もう三年になる。社会学科はその設立の理念として「地域に根ざした研究・教育」をかかげているが、三年の間、地域の方々との接触をもたなかったわけであるから、少なくとも私に関する限り、「看板に偽りあり」ということになる。しかも私の場合、都市計画という地域を離れては成立しえない分野を担当しているわけであるから、怠慢このうえないということになる。この点、大いに反省している。

なるわけではない。いわばそうしたもののづくりによって、そこに住んでいる市民の生活がより豊かなものになって、はじめて都市計画といえるのである。しかし、こうしたほんとうの意味での都市計画を実際に実行していくためには並々ならぬ労力が要求される。たとえば一本の道路を図面に引く場合にも、その道路によって地域社会が分断されるようなことにはならないか、児童の通学に危険はないか、客の流れが変わり既存商店街に損害を与えらるようなことにならないか、立ち退き世帯の居住・営業条件は確保されるかなんかが十分検討されねばならないのである。そのためには地域に入っていくて、住民のさまざまな要求や意見に耳を傾けることが必要である。製図板に向かかって、線をひき、きれいな図面を描いているだけでは、ほんとうの都市計画はできないのである。また地域およびそこにおける人々の生活を正しくとらえるためには、

経済・社会・法律・社会教育・社会福祉といった、幅広い学問領域の知識が不可欠である。都市計画の講座はふつう工学部におかれてはいるが、むしろ都市計画は文科系に近い学問なのである。我田引水ではないが、都留文科大のように、都市計画の講座は文学部に設けられるのが正しいのである。ちなみに、今から三十年近く前、東大にわが国ではじめて都市計画に関する学部の設立が計画されたとき、当初は文学部に設立することが決まっていた。それが結局、工学部の方が文部省からより多くの予算をもらえらるということで、都市工学科となってしまったいきさつがある。

現在、都市計画は建設省の管轄

にあり、建築土木の色合いが強いが、もし当初の計画どおり文学部にもうけられておれば、福祉や教育・文化といった行政分野との結びつきも、もう少し強いものになっていたのではないかと悔やまれるのである。

昨年の夏休み、先ほど述べた意味での、ほんとうの都市計画の姿を教えたいと思い、ゼミの学生をつれて神戸市の都市計画の研修旅行を実施した。あの風見鳥のある異人館で有名な北野地区をはじめ、ほうぼう見て回ったわけであるが、本命は真野地区という人口七千人あまりの小さな地区であった。この地区は三百近い町工場と長屋が混在した典型的な下町地域であるが、ここで全国でも最も有名なまちづくり運動のとりくみが行われているのである。このまちづくり運動のそもそもの発端は公害反対運動であった。工場による廃棄ガス・悪臭がひどく、地域の住民の四割が喘息にかかるような状況で、このため人口も半分近くに減ってしまった。このままでは地域は完全にスラム化してしまう、そうした危機感から、公害追放の運動が始められたわけである。工場に公害防止設備をつけさせたり、公害があまりにもひどい工場の場合は地域外へ移転してもらった。工場が移転するとその跡地の活用が問題になった。この地域は道路もせまく、子どもの遊び場ひとつないところであるから、これを環境改

善のために使おうということでもちづくりが始まったのである。これまで道路の拡幅、公園整備、公営住宅・集会所の建設、長屋の共同建て替えなど様様なまちづくりの実績を上げてきているが、この地区の注目すべき点は、単にそうした「ものづくり」にとどまらず、たとえば老人の入浴サービス、給食サービス、地域の美化・緑化運動、まちづくり学校の開催などといった様様な地域活動もおこなっていることである。見学会の後、一人の学生がもらった感想であるが、話を聞いていて感動のあまり鳥肌がたつたという。それほど真野地区のまちづくりはドラマチックであった。人々が地域をよくしていくため、力を合わせ頑張っている姿に心を打たれたのである。こうした感動的ドラマが生み出されて初めて、ほんとうのまちづくり・都市計画ができたといえるのではないであろうか。

夏休み明け、三年生のゼミの都市設計演習として、富士急に文大前駅ができるという想定で、駅周辺の都市整備構想に取り組んだ。方法論としては最近大きな注目を浴びている、アメリカの建築家アレグザンダーの提唱しているパターン・ランゲージという手法を採用した。アレグザンダーの思想の核心は、まちをどのようにつくり変えていくかという決定権は住民にある、まちの設計はすべきであるという点にある。全くの素人であ

